

2021年度 オンライン「実践予報技術講習会」のご案内

(第3期)

1. 講習対象者

この講習会は気象予報士の資格を有している方で気象に関する業務に従事している方のほか、気象に深い関心をお持ちで、気象予報など基礎的な技術を習得したいと考えておられる方を対象としています。

また、講習の内容は特に高い専門性を必要とするものではありませんので、気象に関わる業務に従事した経験がない方でも興味を持って受講していただけます。

【受講の条件】

本オンライン講習会は、オンラインミーティングツール「Zoom」システムを用いて行います。そのため、この「Zoom」システムを利用できることが必要です。また、実習及び質疑・応答の際に音声及び画像の共有ができることが必要です。

2. 講習のテーマ

「地上（局地天気図含む）、高層天気図の解析やレーダー、気象衛星等の資料から現象の理解を深める」です。

3. 講習期日

2021年度の講習会は5月から7月、9月から11月、12月から2022年2月まで、3か月毎に3期に分けて月2回、原則として隔週金曜日の夜、18時30分から21時の2時間30分で開催します。

今回第3期「応用演習コースⅡ」の募集を行います。

4. 講習目標

今年（2021年）7月3日に、梅雨前線の停滞によって記録的な大雨となって熱海市で大規模な土石流が発生しました。また、ちょうど1年前には、熊本県の球磨川で氾濫・決壊などによって大きな災害が発生しました。このように、近年毎年のように大きな災害が繰り返し発生しています。

気象庁は令和2年12月に「日本の気候変動2020」を発表し、今世紀末には日降水量200ミリ以上の日数が1.5倍（2℃上昇シナリオ）に増加する見通しを出しています。今後、増加が予想されている災害をもたらせるような現象を理解するために、天気図やレーダーや気象衛星を使った気象現象の理解を目標とします。このために、局地天気図解析を含めて天気図解析を中心とした演習に重点を置いて現象の理解を中心として行います。

いろいろな現象の解析を重ねることでスキルの向上を図り、防災上の留意点など応用的な技術の習得も目指します。

5. 講習の内容と進め方

天気図の解析やレーダーや気象衛星の理解などの演習を中心として気象現象を理解することを重点的に進めます。

『天気図解析等を通じて現象の理解を深める』をテーマに、最近の事例から各種天気図に描かれた等圧線や等高度線、渦度や鉛直流などの物理量の解析、解釈などを通して現象の把握、理解のため読み取りポイントを習得します。

対象とする気象現象は、社会に大きな影響を与えるような大雨事例や発達する低気圧、南岸低気圧による大雪などを予定しています。これらの現象は予測が難しい現象も多く、現象を理解することであらかじめ予測に幅を持たせるなどの対応をすることができるようになります。

講習では、主に気象庁 HP など入手可能な天気図、解析図などの資料を用います。受講後もこうした天気図や解析図を活用して、受講によって得られた知見を広げることができるように講習を進めます。ただし、局地天気図についてはそれらの手段で入手が難しい資料です。アメダスで解析できる部分もありますので併せて解説します。

気象予報士の資格の有無とは関わりなく、資料の読み取り、現象の把握、予測のための検討など、予報に関わる技術を身に付けることは容易ではありません。直近に発生した事例を中心に取り上げて、各回、基礎的な段階から繰り返し演習を行うことで豊富な実践的トレーニングができ、確実にスキルの向上を図ります。

第3期：応用演習コースⅡ 2021年12月～2022年2月の3か月6回

秋から冬にかけての現象について、講座で学ぶとともに、実習においては事例解析を中心に現象の理解を目指します。対象とする現象としては、南岸低気圧や冬型による大雪、また、発達する低気圧などを対象とします。直近の事例を多く活用して、身近に感じられるように工夫します。あわせて防災上のポイントを考察することを目指します。

また、講座では予報作業や防災情報の作成についても行う予定で、発表に至るまでの流れやそれに至るまでの判断などがどのようにして行われるのかを学びます。

- 第1～2回 講義：南岸低気圧について 実習：2021年の顕著現象事例解析
- 第3～4回 講義：冬型と発達する低気圧について 実習：南岸低気圧の解析
- 第5～6回 講義：天気予報や防災情報の流れ 実習：防災情報の作成(仮)

6. 募集定員

30名（先着順）

7. 受講料（教材を含む）

各期 20,130円（18,300円+消費税）

8. 申込み方法

「受講申込書」に必要事項をご記入の上、下記の申込先へ電子メールでお申し込みください。

受講の申込みは先着順です。

メールにより受講の受付け後、受講料の振込先をご連絡しますので、受講料を指定の銀行口座にお振り込みください。

また、請求書・受領書等を必要とされる場合は申込書備考欄に名義と必要書類をお知らせください。

なお、一旦納入された受講料の返金には応じかねますのでご承知置き願います。

宛 先

(一財) 気象業務支援センター 「講習会」 担当 宛

E-mail : methiroba@jmbsc.or.jp

9. その他

今般の新型コロナウイルスにより、今回の募集に関し中止させて頂く場合もあります。その際には弊センターホームページにてお知らせしますので、予めご理解とご協力をお願い致します。

また、その際には、受講料は返金させて頂きます。